科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0101	科 目 名	社会人基礎力講座			科目区分	非常勤
科 目 群	教養	担当講師	相原　芳美			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	後期	単位数	２	授業形態.	講義
教 科 書	使用しない			参考書	レジュメ・ワークシート		
成績評価	提出課題 60%　課題内容 30%　まとめテスト 20%						

１．授業概要

振返りやグループワークを通して、就職に対する意識を高め、就職活動に向けての準備をする。会社の仕組みや企業が求める人材について理解する。

２．到達目標

マナーやコミュニケーションなどの基礎的な社会性（社会人基礎力）を身に付けることが出来る。

３．授業計画

後期	
1	本授業の目的の理解・「働くということ」「社会人基礎力」の意味と意義の理解
2	社会人に必要なマナーの理解（挨拶・言葉遣い・第一印象・SNS 利用のマナー）
3	コミュニケーション力向上ワークショップ
4	「チームワーク」向上のワークショップ
5	「前に踏み出す力」向上のワークショップ
6	「考え抜く力」向上のワークショップ
7	まとめテスト
8	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方　Ⅰ
9	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方　Ⅱ
１０	「自己理解」のためのワークショップ①（価値分析・モチベーション）
１１	「自己理解」のためのワークショップ②（好きなこと・得意なこと）
１２	「自己理解」のためのワークショップ③（社会人基礎力の再評価・自己ＰＲ）
１３	まとめテスト
１４	会社の仕組みとホウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構えⅠ
１５	会社の仕組みとホウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構えⅡ
１６	面接練習・まとテスト
１７	講評

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0102	科 目 名	特別講義			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	加瀬　俊広			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	講師持ち込み資料			参考書			
成績評価	平常点や授業の貢献度 70%　レポート評価 30%						

1．授業概要

放送業界の様々な職種で、現役で働いている方のそれぞれの技術分野の特徴を理解する

2．到達目標

放送関連の業務に就職した際の他職種との共同作業を円滑に行える。

3．授業計画

後期	
1	特別講義の内容と受講の心構え
2	番組制作の現場と音声の仕事
3	スタジオ技術について、編集・MA について
4	報道カメラマンについて
5	電気のはなし　国際通信
6	ニュースと報道番組その違いとは
7	映像編集とは
8	4K8K の撮影現場/DIT とは
9	報道中継と特殊な撮影機材の運用例
１０	報道編集マンの仕事について
１１	スポーツ中継映像とスポーツ ENG 映像の違いと役割
１２	BS4K 放送について
１３	マスター業務について
１４	中継業務について
１５	放送関連の技術会社への就業について
１６	制作技術関連企業のリサーチ１
１７	制作技術関連企業のリサーチ２

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0103	科 目 名	マルチメディア工学概論			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	水落清治			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

1．授業概要

ディジタル画像や映像を扱う上で必要な知識として、各種記録媒体やインターフェース、光ディスクの種類やファイルの圧縮について学ぶ。

2．到達目標

デジタルデーターとそのインターフェースについて理解する。

3．授業計画

前期	
1	画像と映像、アナログとディジタルの違い
2	解像度の理解、職種の理解
3	インターフェースの種類について①
4	インターフェースの種類について②
5	各種ファイルフォーマット①
6	各種ファイルフォーマット②
7	各種ファイルフォーマット③
8	記録媒体①
9	記録媒体②
１０	記録媒体③
１１	光ディクスの種類と仕組み①
１２	光ディクスの種類と仕組み②
１３	光ディクスの種類と仕組み③
１４	デジタルデータ記録技術まとめ①
１５	デジタルデータ記録技術まとめ②
１６	前期まとめ、復習
１７	定期試験
後期	
1	次世代記録媒体
2	静止画と音の圧縮①
3	静止画と音の圧縮②
4	動画の圧縮①
5	動画の圧縮②
6	著作権制度の概要
7	マルチメディア関連の著作権①
8	マルチメディア関連の著作権②
9	私的録音補償金制度
１０	作品ビデオ鑑賞
１１	著作権料や補償金の分配など

１２	著作権保護機能（ダビング 10、CPRM など）
１３	4K 技術のビデオ鑑賞
１４	デジタル映像技術まとめ①
１５	デジタル映像技術まとめ②
１６	試験前総復習
１７	定期試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0104	科 目 名	コミュニケーションスキル			科目区分	非常勤
科 目 群	教養	担当講師	高梨　由			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	演習
教 科 書	講師手配			参考書			
成績評価	実技試験 30%筆記、試験 30%、平常点 30%　授業参加貢献度 10%						

1．授業概要

コミュニケーションスキルの向上と、効果的な「自己演出力（セルフプロデュース力)」を習得する

2．到達目標

共同作業を行う際のコミュニケーション能力を習得する。

3．授業計画

前期	
1	講義の主旨説明と導入・事前準備
2	情報収集力…その必要性と方法　敬語①〈5 種類の説明〉
3	発想力①…発想力とは？　敬語②〈尊敬語〉
4	発想力②…発想力のトレーニング（実践）　敬語③〈謙譲語〉
5	体験ワークショップ（半数ずつ）…漫才実習
6	創造力①…創造力とは？　敬語④〈丁寧語〉
7	特別講義①（役者を招いて）表現力の実習
8	表現力①…表現の理論的理解→実際にやってみる　敬語⑤〈美化語〉
9	創造力②…オリジナル「脚本を書いてみる」もしくは「スピーチ原稿を作ってみる」敬語⑥予備
１０	表現力②…オリジナル「脚本」もしくは「原稿」で表現してみる
１１	特別講義②（役者を招いて）役者による実演
１２	応用編※内容未定…「スピーチ」「プレゼン」「ディスカッション」etc　（学生の様子みて）
１３	応用編※内容未定…「スピーチ」「プレゼン」「ディスカッション」etc　（学生の様子みて）
１４	セルフプロデュース自主課題 1
１５	セルフプロデュース自主課題 1
１６	前期講義 総まとめ…総復習をして、整理して理解する
１７	前期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0105	科 目 名	基礎演習			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	大野紗耶子　水落清治			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態.	演習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	課題作品 50%、平常点 50%						

1．授業概要

機材の説明や使い方を覚える。また、パソコンを用いた実習で、放送映像学科で用いるアプリケーションソフトの基本的な使い方を学ぶ。

2．到達目標

放送機材の基本的な取扱い方とパソコンの基本操作ができるようになる。

3．授業計画

前期	
1	「放送映像学科安全基準」をベースに、放送映像学科の撮影に関するルールの説明①
2	「放送映像学科安全基準」をベースに、放送映像学科の撮影に関するルールの説明②
3	教材配布と使い方・撮影許可や各種申請について
4	機材の説明・使い方①（ロケ用機材）
5	Photoshop の操作概要
6	フォトレタッチ操作①　切り抜き操作、選択の操作、コピースタンプツールの活用
7	フォトレタッチ操作②　人物の写真の修正（ほくろ、しみ)、写真サイズの修正
8	フォトレタッチ操作③　色の調整や変更
9	フォトアート作成①　レイヤの理解と活用、ＣＤジャケット制作
１０	フォトアート作成②　フィルタ効果について
１１	Adobe Premiere Pro の基本操作①
１２	Adobe Premiere Pro の基本操作②
１３	Adobe Premiere Pro の基本操作③
１４	パワーポイント・ワード・エクセルの基本操作①
１５	パワーポイント・ワード・エクセルの基本操作②
１６	パワーポイント・ワード・エクセルの基本操作③
１７	パワーポイント・ワード・エクセルの基本操作④

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0106	科 目 名	一般教養講座			科目区分	専任・兼任
科 目 群	一般教育	担当講師	菅野敬祐・麻生裕之			履修区分	選択
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	各授業でプリント配布			参考書			
成績評価	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%						

1．授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験で必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

2．到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

3．授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：式の計算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：多項式と単項式の乗除	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：乗法公式	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：因数分解	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：平方根	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：1 次方程式	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：連立方程式	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：2 次方程式	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：2 次方程式の活用	読売ワークシート
１０	漢字：音読み・訓読み②	数学：2 次方程式の活用	読売ワークシート
１１	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1 次関数	読売ワークシート
１２	漢字：学習漢字の音訓	数学：関数ｙ＝ａｘ2	読売ワークシート
１３	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：立体の表面積・体積	読売ワークシート
１４	漢字：故事成語・名言格言	数学：平行線と角・相似	読売ワークシート
１５	漢字：間違いやすい漢字②	数学：三平方の定理	読売ワークシート
１６	漢字：間違いやすい漢字③	数学：三平方の定理	読売ワークシート
１７	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式の乗法・公式	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：式の展開・因数分解	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：根号を含む式の乗法	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：根号を含む式の計算	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：2 次方程式とその解	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：2 次方程式の解き方①	読売ワークシート
7	漢字：熟語の読み・書き④	数学：2 次方程式の解き方②	読売ワークシート
8	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：2 次方程式の利用①	読売ワークシート
9	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：2 次方程式の利用②	読売ワークシート
１０	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：関数ｙ＝ａｘ2・グラフ	読売ワークシート

１１	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：2 次関数の変域・変化の割合	読売ワークシート
１２	漢字：二字熟語	数学：放物線と直線	読売ワークシート
１３	漢字：三字熟語	数学：相似な図形・相似の利用	読売ワークシート
１４	漢字：四字熟語	数学：相似な図形の面積比・体積比	読売ワークシート
１５	漢字：類義語	数学：円周角の定理・利用	読売ワークシート
１６	漢字：対義語	数学：三平方の定理・利用	読売ワークシート
１７	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0107	科 目 名	海外研修			科目区分	各科共通
科 目 群	教養	担当講師	校長			履修区分	選択
開講学年	１年	開講学期	後期	単位数	２	授業形態.	実習
教 科 書	無し			参考書	無し		
成績評価	報告書 100%						

１．授業概要

年度末の３月に海外へ１０日間の語学研修を実施

２．到達目標

知識見聞を広め、グロバール社会を理解する。

３．授業計画

後期	
1	【研修内容】　前年度実績　変更有 渡航予定地　オーストラリア　アデレード 研修先　ENGLISH COLLEGE OF ADELAIDE 語学研修時間　9：00～16：00　6 時間×5 日間　のべ 30 時間 宿泊　9 日間　ホストファミリー宅 単位認定に係わる認定時間　語学研修 30 時間　文化交流 90 時間　120 時間 学校としての成績評価　評価は報告書内容による 学校としての単位認定基準　帰国後 3 週間以内に報告を提出した者　認定単位 2 単位

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0109	科 目 名	日本語講座			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	小野　恭子			履修区分	講義
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	選択必修
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書			
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

1．授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。

2．到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の４技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3．授業計画

前期	
1	漢字・語彙・文法（1.自動詞・他動詞／1.助詞①）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.複合動詞①／2.助詞②）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.複合動詞②／3.接続表現①）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.する動詞／4.接続表現②）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.意味のある動詞／5.受身・使役・使役受身）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.い形容詞／6.文末表現）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.な形容詞／7.敬語①尊敬語）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.対義語①／8.敬語②謙譲語）、読解問題
１０	漢字・語彙・文法（9.対義語②／9.敬語③丁寧語・美化語）、聴解問題
１１	漢字・語彙・文法（10.副詞／10.敬語④）、読解問題
１２	漢字・語彙・文法（11.擬音語・擬態語／JLPT 対策問題）
１３	漢字・語彙・文法（12.カタカナ語①／JLPT 対策問題）
１４	漢字・語彙・文法（13.カタカナ語②／JLPT 対策問題）
１５	漢字・語彙・文法（14.カタカナ語③／JLPT 対策問題）
１６	漢字・語彙・文法（15.カタカナ語④／JLPT 対策問題）
１７	前期期末試験
後期	
1	漢字・語彙・文法（1.漢字読み・表記／1.文の文法１）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.漢字読み・表記／2.文の文法１）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.文脈規定（動詞・名詞）／3.文の文法２）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.文脈規定（形容詞）／4.文の文法２）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.言い換え類義（動詞・名詞）／5.文章の文法３）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.言い換え類義（形容詞・副詞）／6.文章の文法３）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.用法（動詞・名詞）／7.文法形式まとめ）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.用法（動詞・名詞）／8.文法形式まとめ）、読解問題
１０	漢字・語彙・文法（9.用法（動詞・名詞）／9.文法形式まとめ）、読解問題
１１	漢字・語彙・文法（10.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、聴解問題

１２	漢字・語彙・文法（11.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題)、読解問題
１３	総合問題
１４	総合問題
１５	総合問題
１６	総合問題
１７	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0201	科 目 名	スタジオ実習 I			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	岩本　茂　　角田　晃一郎　中山 計介　田淵　博			履修区分	必修
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	8	授業形態.	実習
教 科 書	講師作成資料			参考書			
成績評価	平常点や授業の貢献度 20%　筆記試験 30%　実技試験 30%　課題提出 20%						

1．授業概要

番組制作時のテレビ業界の基礎用語や常識、ルールを理解する。また、照明を中心とした基礎知識を習得する。この授業では、教員のスタジオでの技術スタッフを統括する立場であるテクニカルディレクターの実務経験を活かし、学生がスタジオでの番組制作の一連の手順や留意すべき事項をより実務的に習得する事が可能。

2．到達目標

2 年次でのスタジオ番組制作への応用や対応できる技術基盤を習得する。

3．授業計画

前期	
1	自己紹介、授業の進め方、職種説明、安全について、照明概要、ｽﾀｼﾞｵの機能、機材説明。
2	カメラ概要、撮影テキスト座学。スタジオでカメラ実践。
3	VTR 記録シートの書き方、音卓、CG、SW 等説明、テキスト座学(イマジナリーライン等)人物撮影(サイズなど)
4	スタジオ照明実践：器具の種類、構造等、次回実習に向けて前フリ、打ち合わせ
5	番組制作：「私の一枚」で各職種の仕事を体験する、ローテーション 4 回　1 週目
6	「私の一枚」続き、ローテーション 4 回 2 週目
7	〃　　3 週目
8	〃　　4 週目
9	「私の一枚」続き…すべてのセクションを体験、撮影完了後プレビュー
１０	カメラケーブル巻き(8 の字・タイム計測)・ハンディ―カメラ取り扱い、次回フリ
１１	総合実習：「ファッションショー」（WIPE、RET など）(パーライトなど照明)セクション検討。2 コマ 1 組。
１２	反省、プレビュー／乾燥／他班の菅製作も評価、次回フリ
１３	番組制作：「トーク番組」／イマジナリーライン、フリップ、クロス撮影、影を出さない照明。2 ローテ(指名)
１４	照明テスト対策、カメラテスト対策、総括(トーク番組プレビュー)
１５	実習の経過を見て内容検討。
１６	期末実技試験
１７	期末筆記試験
後期	
1	前期振り返り、次回フリ
2	映像強化。
3	照明強化。
4	次回に向けて前フリ、打ち合わせ、台本作成。
5	番組制作：「テレビショッピング」リハーサル(決め事とアドリブの配分を探る)
6	「テレビショッピング」続き。全て学生主導で本番収録まで行う。プレビュー。
7	次回前フリ、打ち合わせ、ミニジブの使い方。

8	番組制作 :「ト書きドラマ」リハーサル～本番(ミニジブ使用)マルチカメラ
9	番組制作 : ハンディ―カメラメインの番組
１０	次回に向けて前フリ、打ち合わせ、ケーブルルート確認
１１	番組制作 :「生ワイド番組」スタジオ外に中継カメラ、スタジオと掛け合い。インサート VTR あり。
１２	「生ワイド番組」続き、時間管理、N-1 等を学ぶ、反省、プレビュー
１３	ケーブル巻き練習
１４	照明、カメラテスト対策、総括
１５	上記実習の成果を見て検討。
１６	期末実技試験
１７	期末筆記試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0202	科 目 名	音声実習			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井　吉春			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

1．授業概要

テレビ番組においての音声の収音方法を基本的な機器操作や技術を習得し、講師の経験から各種番組のノウハウを理解する

2．到達目標

学生全員が音声を担当しても困らない水準の音声技術を習得する

3．授業計画

前期	
1	録音とは、マイクとは、ケーブルの種類を説明
2	各種音声コネクターの説明とケーブルの巻き方の指導
3	マイクケーブル作り
4	マイクとポータブルミキサーの操作方法の解説
5	ポータブルミキサーミキシング実習
6	スタジオの音声機器の解説と各機器の操作方法
7	音声調整卓の操作方法の説明
8	音声調整卓の操作実習後期期末試験
9	ボータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 収音の実習 1
１０	ボータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 収音の実習 2
１１	ボータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 収音の実習 3
１２	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 1
１３	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 2
１４	音声機器総合トレーニング 1
１５	音声機器総合トレーニング 2
１６	前期のまとめ
１７	前期期末試験
後期	
1	スタジオブームドリーの使用方法の実習
2	Boom(竿)での収音の解説とドラマでの台詞の録音実習 1
3	Boom(竿)での収音の解説とドラマでの台詞の録音実習 2
4	番組での N-1 の作り方を音声調整卓にて作る実習 1
5	番組での N-1 の作り方を音声調整卓にて作る実習 2
6	音楽番組スタジオ実習(カラオケでの PA とボーカル取り)
7	学校 CM の企画実習
8	学校 CM の撮影および素材作り実習
9	学校 CM のナレーション取り実習 1
１０	学校 CM のナレーション取り実習 2
１１	学校 CM の MA(SE 入れ込み、選曲)実習 1

１２	学校 CM の MA(SE 入れ込み、選曲)実習 2
１３	実習総括音楽番組 MA(トラックダウン)実習 1
１４	実習総括音楽番組 MA(トラックダウン)実習 2
１５	音声機器総合トレーニング１
１６	音声機器総合トレーニング２
１７	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0203	科 目 名	ノンリニア編集			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	植竹邦央　山道源喜			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 20%後期実技試 80%						

1．授業概要

段階的な映像編集の実習を通して基礎の編集技術を身に付ける。

現役編集者の実技指導によって、編集の面白さと楽しさ、難しさを理解する

2．到達目標

映像を編集する為の構成能力、表現能力、感受性が向上する。

3．授業計画

前期	
1	編集ブースの割り振り、基本的な用語の説明、編集機の取り扱い
2	カラーバーやクレジットの作成および編集機の取り扱い
3	レベル１「カフェテラス」２カットを編集する　編集機の取り扱いに慣れる
4	レベル２「スマホで電話」４カットを編集する
5	レベル２「スマホで電話」４カットを編集する
6	レベル２「スマホで電話」４カットを編集する
7	レベル３「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し５カットを尺指定で編集する
8	レベル３「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し５カットを尺指定で編集する
9	レベル３「ランチ」時間と空間の削除を意識し５カットを尺指定で編集する（復習）
１０	レベル３「ランチ」時間と空間の削除を意識し５カットを尺指定で編集する（復習）
１１	レベル４　レベル２・３の３種類の素材を使ってシーンの変わり目とシークェンスを意識する
１２	レベル４　レベル２・３の３種類の素材を使ってシーンの変わり目とシークェンスを意識する
１３	レベル４　レベル２・３の３種類の素材を使ってシーンの変わり目とシークェンスを意識する
１４	レベル５「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間 30 分で終了を目指す）
１５	レベル５「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間 30 分で終了を目指す）
１６	レベル５「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間 30 分で終了を目指す）
１７	編集技術前期総合トレーニング
後期	
1	レベル６　「彼岸花」素材を使って作品のテーマと映像の関係
2	レベル６　「彼岸花」素材を使って作品のテーマと映像の関係
3	レベル７　「イルミネーション」素材を使ってリポート編集トレーニング
4	レベル８　「彼岸花」リポート形式による編集（BGM 使用）
5	レベル８　「彼岸花」リポート形式による編集（BGM 使用）
6	レベル８　「彼岸花」リポート形式による編集（BGM 使用）
7	レベル９　「バンジージャンプ」　リポート形式による編集
8	レベル９　「バンジージャンプ」　リポート形式による編集
9	レベル９　「バンジージャンプ」　リポート形式による編集
１０	レベル９　「バンジージャンプ」　リポート形式による編集
１１	レベル１０「雪の大谷」　リポート形式による編集

１２	レベル１０「雪の大谷」　リポート形式による編集
１３	レベル１０「雪の大谷」　リポート形式による編集
１４	レベル１０「雪の大谷」　リポート形式による編集
１５	レベル１０「雪の大谷」　リポート形式による編集
１６	編集技術総合振り返り
１７	実技試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0204	科 目 名	ＥＮＧロケ取材基礎			科目区分	専任実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	内田　幹夫			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	前期	単位数	４	授業形態.	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック			教材・参考書			
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

１．授業概要

ＥＮＧカメラ及びフィールド３ＣＨミキサーの操作を確実に理解し、基本的な撮影方法を習得する。

２．到達目標

それぞれの撮影機材の用途及び基本操作を理解し、必須装備として活用できるよう成長する。

３．授業計画

前期	
１	【ガイダンス】受講心得と趣旨説明 ＥＮＧ解説 放送機材(カメラ及び三脚)の構造と取り扱い方法
２	【ＥＮＧ概念】色温度及びＴＣ(ﾀｲﾑｺｰﾄﾞ)説明 「表現」の根源である５Ｗ１Ｈの解説
３	【撮影基礎①】撮影実習　～テーマに沿った題材を撮影し「伝える」表現の根底を理解する～
４	【撮影基礎②】実習後撮影素材評価 基本的なｶﾒﾗｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの習熟訓練実施
５	【撮影基礎③】業務用小型カメラ及び三脚の構造と取り扱い方法
６	【撮影基礎④】撮影実習　～動体であるﾓﾉﾚｰﾙを撮影し、ｶﾒﾗｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの習熟度合を向上させる～
７	【撮影基礎⑤】実習後撮影素材評価 ｶﾒﾗｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの更なる向上のため習熟訓練実施
８	【録音基礎①】ガンマイク及びフィールド３ＣＨミキサーの取り扱い方法
９	【録音基礎②】ガンマイク及びフィールド３ＣＨミキサーの取り扱い方法 ＥＮＧカメラとの結線
１０	【総合基礎①】撮影実習　～テーマに沿った題材を撮影し確実に「伝わる」表現を習得する～
１１	【総合基礎②】撮影実習　～建築会館においての模型撮影を通じ静態描写を理解する～
１２	【総合基礎③】実習後撮影素材評価 ｶﾒﾗｵ及びﾐｷｻｰｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの更なる向上のため習熟訓練実施
１３	【総合基礎④】各機材アクセサリー説明及び使用時効果解説
１４	ENG 関連機器総合トレーニング
１５	【試験対策①】筆記試験における補足解説
１６	【試験対策②】実技試験における補足解説
１７	期末試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２０年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0205	科 目 名	ＥＮＧロケ取材実習			科目区分	専任実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	内田　幹夫			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	後期	単位数	４	授業形態.	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック			教材・参考書			
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

１．授業概要

前期で学んだことを生かし、主旨やテーマを確実に「伝える」「伝わる」ための方法論を会得する。

２．到達目標

作品制作の過程を理解しそして完成させ、更に伝えることに重きを置いた表現者となるよう成長する。

３．授業計画

前期	
	前期開講なし
後期	
１	【考査の解説】前期試験について狙いと解説 ｶﾒﾗｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの習熟訓練実施
２	【照明基礎①】照明機材説明 効果解説及び取り扱い方法
３	【照明基礎②】撮影実習　～照明を使用しその効果を実感する 人物及び物撮り(湯気の出し方)～
４	【総合実習①】撮影実習　～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅰ～
５	【総合実習②】撮影実習　～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅱ～
６	【総合実習③】撮影実習　～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅲ～
７	【総合実習④】撮影実習　～中継車を用いた大規模舞台(ミュージカル)撮影実施～
８	【総合実習⑤】撮影実習　～３分程度のﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ制作 企画会議～
９	【総合実習⑥】撮影実習　～３分程度のﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ制作 ロケーションハンティング～
１０	【総合実習⑦】撮影実習　～３分程度のﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ制作 取材Ⅰ～
１１	【総合実習⑧】撮影実習　～３分程度のﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ制作 取材Ⅱ～
１２	【総合実習⑨】撮影実習　～３分程度のﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ制作 取材Ⅲ～
１３	【総合実習⑩】撮影実習　～作品鑑賞及び品評～
１４	ENG 関連機器総合トレーニング
１５	【試験対策①】筆記試験における補足解説
１６	【試験対策②】実技試験における補足解説
１７	期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0206	科 目 名	コンテンツ制作			科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	大野紗耶子　水落清治			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	課題作品 70%平常点 30%						

1．授業概要

Photoshop、Illustrator、After Effects の使用方法を正しく理解する。

2．到達目標

映像コンテンツの素材が作成できるようになる。

3．授業計画

前期	
前期開講なし	
後期	
1	Illustrator の基本操作　パーツの合成機能などを用いてイラストを描く
2	Illustrator の基本操作　整列機能等を用いてイラストを描く
3	Illustrator の基本操作　パスの使い方
4	Photoshop と Illustrator の連携
5	Illustrator で学園祭の広告作成①
6	Illustrator で学園祭の広告作成②
7	After Effects の基本操作　Photoshop で切り抜いた素材を読み込み動かす①
8	After Effects の基本操作　Photoshop で切り抜いた素材を読み込み動かす②
9	After Effects を用いての総合作品制作①　動画・静止画の使用　人物を消す
１０	After Effects を用いての総合作品制作②　動画・静止画の使用　エフェクトを用いる
１１	After Effects を用いての総合作品制作③　動画・静止画の使用　ドラマで使える合成①
１２	After Effects を用いての総合作品制作④　動画・静止画の使用　ドラマで使える合成②
１３	複数の動画の合成①　光線のエフェクトの作成
１４	複数の動画の合成②　人物の動きに合わせたエフェクトの作成①
１５	複数の動画の合成③　人物の動きに合わせたエフェクトの作成②
１６	アプリケーション操作総合トレーニング１
１７	アプリケーション操作総合トレーニング２

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0207	科 目 名	企画演出論			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	小中　和哉			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	筆記試験 90%平常点や授業への貢献度 10%						

1．授業概要

演出技法の解説をした後にその技法が使われている映画の１シーンを見せて、現場ですぐに生かせる技術を身に付ける。参考作品を見せて分析・解説して映像作品への理解を深める。

2．到達目標

放送番組のスタッフとして、最低限知っておくべき映像演出の技法を習得する。

3．授業計画

前期	
1	演出とは何か？制作現場において演出家が持つ役割、責任
2	カメラポジション、アングル、サイズ
3	基本のカメラワーク①カメラワーク（パン）
4	基本のカメラワーク②カメラワーク（ズーム）
5	基本のカメラワー③カメラワーク（移動、クレーン）
6	基本のカメラワーク④レンズとフォーカス（広角と望遠、被写界深度）前編
7	基本のカメラワーク⑤レンズとフォーカス（広角と望遠、被写界深度）後編
8	編集の基本①（モンタージュ論、カットつなぎの方法）
9	編集の基本②（様々な編集リズム、イマジナリーライン）
１０	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）①
１１	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）②
１２	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）③
１３	照明の基本（ライティングによる演出効果）
１４	色彩の演出、作品のルック
１５	音響演出の基本（SE と音楽）①
１６	音響演出の基本（SE と音楽）②
１７	前期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0208	科 目 名	企画演出実習			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	小中　和哉			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	課題提出される脚本、企画書、構成案、スケジュール表の評価平均点 90%及び平常点や授業への貢献度 10%						

1．授業概要

テレビ番組、映画の制作で使われる企画書、脚本、構成案、スケジュール表などを作成できる能力を身に付ける。

2．到達目標

希望職種に関わらず企画制作の過程を理解する

3．授業計画

前期	
1	脚本実習①　小説からシナリオ形式に書き起こす　解説
2	シナリオ書き
3	実際のシナリオとの比較　作品鑑賞
4	脚本実習②　決まったプロットから自分でシナリオを書く　解説
5	シナリオ書き①
6	シナリオ書き②
7	企画書実習　解説
8	企画書作り①
9	企画書作り②
１０	字コンテ実習　解説
１１	字コンテ書き①
１２	字コンテ書き②
１３	画コンテ実習　解説
１４	画コンテ書き①
１５	画コンテ書き②
１６	前期実習総合課題１
１７	前期実習総合課題２
後期	
1	スケジュール表実習　解説
2	スケジュール表書き①
3	スケジュール表書き②
4	制作シミュレーション実習　脚本分析
5	本読み
6	立ち稽古
7	コンテ書き①
8	コンテ書き②
9	カメラワーク実習①
１０	カメラワーク実習②

１１	カメラワーク実習③
１２	カメラワーク実習④
１３	作品鑑賞①
１４	作品鑑賞②
１５	作品解説
１６	後期実習総合課題１
１７	後期実習総合課題２

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0209	科 目 名	編集理論			科目区分	非常勤
科 目 群	専門	担当講師	高橋　巌			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態.	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%　筆記試験 70%						

1．授業概要

現役編集者の講義により映像編集に関する基礎知識を学び、編集の面白さと奥深さを理解する

2．到達目標

編集専門職の業務内容を理解する。

3．授業計画

前期		
1	日常における編集	文化は編集である
2	ショットとカット	演出と編集の関係
3	編集の歴史	フィルムからデジタルへ
4	編集の倫理①	編集の作用
5	編集の倫理②	プロパガンダ
6	カットポイント	伝達のためのリズムと間
7	画と音	自然に見える不自然さ
8	モンタージュ①	発明と発達
9	モンタージュ②	象徴と暗喩
１０	編集技法①	エフェクトとトランジション
１１	編集技法②	作品をささえる技法
１２	サウンド編集	音楽や効果音について
１３	ポストプロダクション	編集がかかわる範囲
１４	ポストプロダクション企業リサーチ１	
１５	ポストプロダクション企業リサーチ２	
１６	編集理論振り返り	
１７	試験	

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0210	科 目 名	インターンシップ			科目区分	企業実習
科 目 群	教養	担当講師	加瀬　俊広			履修区分	選択
開講学年	１年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	無し			参考書	無し		
成績評価	報告書 60%　報告会発表 20%　受入れ企業評価 20%						

１．授業概要

夏季休業を含む後期 2～3 週間程度を目安に、日本テレビ関連ならびに番組制作会社において、カメラ・照明・音声・編集に関し実際の現場で業務を体験することで各職種を理解する。

２．到達目標

授業で学ぶことがいかに大切なのかが理解でき、2 年次のコース選択ならびに卒業後の進路決定につながる。

３．授業計画

後期	
1	【研修内容】 研修先　　映像制作関連企業 研修期間　7 日間を基本として最大 14 日間 研修時間　8：00～17：00　（受入れ企業・制作番組による）8 時間×7 日間 単位認定に係わる認定時間　　研修時間+報告書作成時間+発表時間　120 時間 学校としての成績評価　　評価は報告書内容による 学校としての単位認定基準　修了後 3 週間以内に報告を提出し、報告会に参加 学校としての認定単位　4 単位

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0211	科 目 名	技術基礎			科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	加瀬　俊広			履修区分	必修
開講学年	１年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	講師作成テキスト			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

１．授業概要

放送機材を操作する時に必要な、電気や音響などの各種技術の基礎的な知識を習得する。

２．到達目標

新しい映像音響技術について容易に理解できるようになる。

３．授業計画

前期	
1	電気基礎ガイダンス、ＳＩ単位系について。
2	電気関連のＳＩ単位と、単位に関わる接頭語について。
3	デジタルデータ・アナログデーターの概念
4	デジタルデータの基礎
5	論理回路の基礎
6	交流回路の基礎
7	交流電源とグランド、アースの概念について。
8	直流と交流の特徴、二次電池の種類と基礎知識
9	抵抗回路の基礎。
１０	抵抗回路の基礎、合成抵抗、電圧分割について。
１１	コンデンサについて。
１２	交流信号とフィルター回路について。
１３	インピーダンスに関する例題と解説。
１４	機器間の信号接続について１
１５	機器間の信号接続について２
１６	技術基礎　前期レビュー。
１７	期末試験
後期	
1	技術基礎試験問題解説。
2	信号の伝送に要する線数と不平衡・平衡回路
3	デジタルオーディオ信号と平衡回路
4	パッチパネルの構造について。
5	増幅器の基本
6	増幅素子の種類について。
7	デシベルの概念について。
8	デシベルの応用と例題の解説。
9	電気音響技術でのデシベル応用
１０	音響の基礎。
１１	電気音響と建築音響について。
１２	電波の種類と特徴。地上波デジタル放送の仕組み。

１３	電波と変調の技術。
１４	ワイヤレスマイクの技術１
１５	ワイヤレスマイクの技術２
１６	技術基礎　後期レビュー
１７	期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0212	科 目 名	放送技術概論			科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	加瀬　俊広			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	ポストプロダクション技術マニュアル			参考書	講師作成テキスト		
成績評価	筆記試験 100%						

1．授業概要

テレビジョンの基本原理及びデジタル映像信号、放送機材の基本的な仕組みを理解する。

2．到達目標

放送分野の制作業務に必要な、様々な基礎的知識を習得する。

3．授業計画

前期	
1	放送概論ガイダンス。
2	動画の原理、テレビジョンの基本原理。
3	走査線の概念と同期信号。
4	光と色彩の知識、色温度について。
5	色の 3 原色と 3 属性について
6	レンズの基礎
7	レンズの知識(絞り)。
8	レンズの知識(被写界深度)。
9	カメラ内での信号処理について（撮像素子、ガンマ)。
１０	カメラ内での信号処理について（ホワイトバランス、ニー、ホワイトクリップ、ディテール)。
１１	映像信号の基礎。
１２	世界各地の放送規格について
１３	コンポーネント信号、コンポジット信号について
１４	SD 信号と HD 信号の特徴について
１５	SD 信号の種類について
１６	前期放送概論レビュー
１７	前期期末試験
後期	
1	放送概論試験問題解説。
2	デジタルビデオ信号の仕組みについて。
3	放送用モニタ、波形モニタについて。
4	VTR に関する基礎知識、テープフォーマット。
5	VTR に関する運用知識、テープトラブル。
6	タイムコードの基礎知識。
7	スイッチャーと映像特殊効果について。
8	ゲンロック（同期結合）の概念。
9	信号用コネクター盤について、パッチ盤の仕組み。
１０	映像関連の信号処理機材について。
１１	インカムシステムの仕組みについて。
１２	ミキシングコンソールとオーディオエフェクターの概要

１３	デジタルミキサとアナログミキサの特徴について。
１４	映画フィルムからビデオへの変換技術、デジタルシネマの概要。
１５	デジタルシネマとテレビ放送の技術的な差異について
１６	後期放送概論レビュー
１７	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0213	科 目 名	テレビ音声			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井　吉春			履修区分	必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

1．授業概要

テレビ音声の役割を理解させ他の部署との協調性を常に保つよう指導して1年間で音声の基礎と機器の操作方法を習得する。

2．到達目標

テレビ音声の業務内容と技術を理解する。

3．授業計画

前期	
1	テレビ音声とはどのような科目なのかを具体的に説明
2	テレビにおける音声の役割と仕事の解説
3	ケーブルとコネクター、収録機(VTR 等)の説明
4	マイクロフォンの種類および使い方の説明
5	ポータブルミキサーの使い方の説明 1
6	ポータブルミキサーの使い方の説明 2
7	スタジオ音声機器の説明
8	スタジオ音声機器の使い方の解説
9	パッチベイの説明
１０	音声調整卓の説明
１１	音声調整卓の使い方
１２	ENG の音声の仕事１
１３	ENG の音声の仕事２
１４	ENG の音声の仕事３
１５	ENG の音声の仕事４
１６	前期総括
１７	期末試験
後期	
1	ENG の音声の仕事 2
2	ENG の音声の仕事 3
3	ドラマの音声 1
4	ドラマの音声 2
5	情報番組の音声 1
6	情報番組の音声 2
7	中継番組の音声 1
8	中継番組の音声 2
9	音楽番組の音声 1
１０	音楽番組の音声 2
１１	PA の説明とスタジオにおける簡易 PA

１２	ポスプロにおいての音声
１３	MA1
１４	MA2
１５	MA3
１６	後期総括
１７	期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0214	科 目 名	スタジオ実習 II			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	高梨　正利　加瀬　俊広、角田　晃一朗、加藤　昭比古			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	8	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業の貢献度 65%　番組制作課題作品の評価 35%						

1．授業概要

実習毎に設定されるテーマに応じて番組制作をグループ毎に行い、より実践的なスタジオ番組制作技術を習得する。この授業では、教員のスタジオでの技術スタッフを統括する立場であるテクニカルディレクターの実務経験を活かし、学生がスタジオでの番組制作の一連の手順や留意すべき事項をより実務的に習得する事が可能。

2．到達目標

テレビ番組制作に関わる人材として通用する技能と意識を身に付ける

3．授業計画

前期	
1	自己紹介をして、自己紹介のＶＴＲを収録する。
2	ケーブルの巻き方、カメラのレンズの脱着の仕方を学ぶ。
3	人物を撮るときのサイズを学ぶ。
4	人物への照明の当て方、音の取り方を学ぶ。
5	一人しゃべりの撮影の仕方を学ぶ。
6	二人対談の撮り方や照明のあて方を学ぶ。
7	三人対談の撮り方、照明のあり方
8	四～六人の対談の撮り方、音の取り方、照明のあて方を学ぶ。
9	胸像を使って照明の当て方、カメラワークの仕方
１０	クレーンを作ってクレーンワークの仕方を学ぶ
１１	歌番組を制作して、カメラ、音声、照明のレベルアップを計る
１２	紙芝居を撮影する①
１３	紙芝居を撮影する②
１４	紙芝居を撮影する③
１５	クロマキーの合成技術を学ぶ
１６	バンドを入れて撮影の仕方、音の取り方、照明のあて方を学ぶ①
１７	バンドを入れて撮影の仕方、音の取り方、照明のあて方を学ぶ②
後期	
1	クイズ番組を作る
2	オリジナル番組を作る①
3	オリジナル番組を作る②
4	料理番組を作る①　美味しそうな撮り方
5	料理番組を作る②　美味しそうな音、美味しそうに見える照明のあて方を学ぶ
6	トランプの撮影①
7	トランプの撮影②
8	ＵＮＯの撮影①

９	ＵＮＯの撮影②
１０	歌番組を制作し、カット割りの勉強をする
１１	オリジナル番組の制作
１２	ペデスタルの動かし方を復習する
１３	カメラワーク、サイズの復習をする
１４	学校ＣＭを作る①
１５	学校ＣＭを作る②
１６	自主課題制作①
１７	自主課題制作②

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0215	科 目 名	デジタルエフェクト			科目区分	非常勤
科 目 群	専門	担当講師	大和　拓			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書				参考書			
成績評価	課題作品評価 60%平常点や授業への貢献度 40%						

1．授業概要

アフターエフェクツ（アプリケーション）を使った映像表現の技術を習得する。

2．到達目標

デジタル映像処理の基礎を理解し、作品づくりの基礎と心構えを習得する。

3．授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。基礎知識確認。
2	AE 基本操作解説。
3	AI 基礎技術練習。練習課題１時計。
4	練習課題１時計続き。
5	AI 基礎技術練習。練習課題２観覧車。
6	練習課題２観覧車続き。
7	練習課題２観覧車続き。
8	PS 基礎技術練習。練習課題３踊る名前。
9	課題４走る動物。
１０	課題４走る動物続き。
１１	課題４走る動物続き。
１２	課題４走る動物続き。
１３	AE 基礎技術解説。練習課題５惑星と衛星。
１４	AE 基礎技術解説。練習課題６箱。
１５	練習課題６箱続き。
１６	自由制作
１７	自由制作
後期	
1	練習課題７光る剣。
2	練習課題７光る剣。続き。
3	練習課題７光る剣。続き。
4	エフェクト解説。
5	課題８　フットサルチーム紹介。
6	課題８　フットサルチーム紹介。続き。
7	課題８　フットサルチーム紹介。続き。
8	課題８　フットサルチーム紹介。続き。
9	課題８　フットサルチーム紹介。続き。品評会。
１０	課題１１架空のテレビ番組オープニング。
１１	課題１１架空のテレビ番組オープニング。続き。
１２	課題１１架空のテレビ番組オープニング。続き。

１３	課題１１架空のテレビ番組オープニング。続き。
１４	課題１１架空のテレビ番組オープニング。続き。
１５	自由制作
１６	自由制作
１７	品評会。総括。

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0216	科 目 名	撮影技術実習（A）			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井　吉春　永田　裕之			履修区分	必修
開講学年	2	開講学期	通期	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

1．授業概要

授業は（A）（B）の班分けで実施する。テレビ番組における撮影技術と音声の集音方法の為の機器操作や技術を習得する。

2．到達目標

様々なジャンルの番組に対応できるように技術のみならず技術的演出を身に付ける。

3．授業計画

前期	
1	ポータブルミキサーと Boom（竿）での ENG 収音の実習 1
2	ポータブルミキサーと Boom（竿）での ENG 収音の実習 2
3	ポータブルミキサーと Boom（竿）とワイヤレスマイクでの ENG 収音の実習 3
4	ポータブルミキサーと Boom（竿）とワイヤレスマイクでの ENG 収音の実習 4
5	ポータブルミキサーでドラマの収録実習 1
6	ポータブルミキサーでドラマの収録実習 2
7	ポータブルミキサーでドラマの収録実習 3
8	ポータブルミキサーでドラマの収録実習 4
9	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 1
１０	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 2
１１	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 3
１２	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 4
１３	音声調整卓を使ってバラエティ番組の実習 1
１４	音声調整卓を使ってバラエティ番組の実習 2
１５	機材総合トレーニング①
１６	機材総合トレーニング②
１７	前期期末試験
後期	
1	音声調整卓を使って音楽番組の実習 1
2	音声調整卓を使って音楽番組の実習 2
3	音声調整卓を使って音楽番組の実習 3
4	音声調整卓を使って音楽番組の実習 4
5	音声調整卓を使って情報番組の実習 1
6	音声調整卓を使って情報番組の実習 2
7	音声調整卓を使って情報番組の実習 3
8	音声調整卓を使って情報番組の実習 4
9	MA 実習 1
１０	MA 実習 2
１１	MA 実習 3

１２	MA 実習４
１３	MA 実習５
１４	MA 実習６
１５	MA 機材総合トレーニング①
１６	MA 機材総合トレーニング②
１７	後期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0216	科 目 名	撮影技術実習（B）			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	川田　直樹			履修区分	必修
開講学年	2	開講学期	通期	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

1．授業概要

授業は（A）（B）の班分けで実施する。技術面と精神面を両軸として映像作り全体から見た映像美術、特に美術の基本を実践的に習得する

2．到達目標

様々なジャンルの番組に関わる美術業務を理解できるようになる。

3．授業計画

前期	
1	自己紹介、放送業界（美術）で使用されている尺貫法。美術パートの役割分担
2	美術スタッフが使用する工具や道具。小道具持ち道具のつながりについて
3	美術パートにおける様々な台本の読み方。香盤表について
4	短編映像作品の台本と完成映像の比較。消え物について
5	模擬撮影による作品のつくり方。スタッフ編成、台本の読み方、捉え方
6	模擬撮影による作品のつくり方。撮影の進め方、美術を意識したフレームづくり
7	上手、下手から上座下座の解説。小道具、掛軸の扱い方
8	大道具（建具）について。小道具、桐の箱の扱い方。四方掛の方法、表現について。
9	装飾（家具）の扱い方。安全性を考えた家具の持ち方。組み合わせによる表現（花と花器）
１０	美術（図面）平面図、立面図の書き方、見方①
１１	美術（図面）平面図、立面図の書き方、見方②
１２	美術（図面）平面図、立面図の書き方、見方③
１３	30 分ほどの短編映像を参考に美術的な準備や作業日数の解説
１４	日本建築。日本間における各パーツの名称。京間、中京間、江戸間の解説
１５	舞台美術、イベント美術、ライブ映像に関する美術。今までの授業をもとに様々な質問に答える
１６	前期授業の総合的な復習
１７	前期試験
後期	
1	ENG 制作における、美術的な視点での台本の読み方考え方。
2	ENG 制作における、美術的な視点での準備、調べもの、ロケハン
3	卒業制作における、美術的な視点での台本の読み方考え方。
4	卒業制作における、美術的な視点での準備、調べもの、ロケハン
5	美術パート、スタッフ以外の美術関連会社のいろいろ
6	ドラマとバラエティや情報番組の美術の違い
7	映像美術におけるよごしの表現（大道具、装飾、小道具、衣装）①
8	映像美術におけるよごしの表現（大道具、装飾、小道具、衣装）②
9	映像美術におけるよごしの表現（大道具、装飾、小道具、衣装）③
１０	被写体に対する考え方、美術パートと他のパートの比較
１１	美術パートを映像制作全体から捉えての注意点や考え方。

１２	これからの映像業界全体から捉えた美術パートの可能性。
１３	卒業後の仕事につくにあたっての心掛けや仕事に対する考え方。
１４	ENG 作品を見ながら美術の視点からの総括
１５	卒業作品を見ながら美術の視点からの総括
１６	後期授業の総合復習
１７	後期試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0217	科 目 名	番組制作論			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	金田　龍			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験及び番組企画書などの課題提出物 60%、平常点や授業への貢献度 40%						

1．授業概要

番組制作において実践的な技術や注意すべきこと、視聴者、出演者、スタッフ、撮影に関わる人との意思疎通のとり方を習得する。

2．到達目標

映像業界に就職するにあたり、知っておくべき番組制作の手順と慣習を身に付ける。

3．授業計画

前期	
1	制作・演出の仕事
2	○演出・脚本・演技について
3	〃
4	〃
5	○現場スタッフ各パートの役割・プロの現場について
6	〃
7	〃
8	○脚本から演出する作法
9	〃
１０	〃
１１	○作品研究
１２	〃
１３	〃
１４	ディベート①
１５	ディベート②
１６	ディベート③
１７	撮影現場についてレポート作成
後期	
1	○作品研究
2	〃
3	〃
4	学園祭準備
5	卒業制作準備①
6	〃　②
7	卒業制作撮影
8	〃
9	〃
１０	〃
１１	〃

１２	〃
１３	〃
１４	〃
１５	〃
１６	卒業制作レポート作成
１７	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0218	科 目 名	ドラマ演出論			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	小中　和哉			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態.	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	筆記試験 90%平常点や授業への貢献度 10%						

1．授業概要

実際の映像作品を題材に、撮影する際に必要とされる基本的な演出方法を習得できる。

2．到達目標

演出業務に関わる人物との意思疎通が円滑に出来るようになる。

3．授業計画

前期	
1	実習用シナリオ①
2	実習用シナリオ②
3	映像解説①
4	映像解説②
5	卒業制作対策授業①
6	卒業制作対策授業②
7	卒業制作対策授業③
8	映像解説③
9	映像解説④
１０	映像解説⑤
１１	卒制企画書①
１２	卒制企画書②
１３	卒制企画書③
１４	映像解説⑥
１５	映像解説⑦
１６	作品鑑賞①
１７	作品鑑賞②
後期	
1	映像解説⑧
2	映像解説⑨
3	映像解説⑩
4	映像解説⑪
5	映像解説⑫
6	映像解説⑬
7	映像解説⑭
8	映像解説⑮
9	卒制撮影
１０	卒制撮影
１１	卒制撮影
１２	映像解説⑯

１３	映像解説⑰
１４	映像解説⑱
１５	映像解説⑲
１６	作品鑑賞①
１７	作品鑑賞②

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0219	科 目 名	番組制作実習 I			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	橋本　弘行　　斉藤　みゅん　小林　一利			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%　筆記試験 35%　レポート課題制作評価 35%						

1．授業概要

主にロケ収録に於ける ENG カメラ・音声機材・照明の取り扱い方法を総合的に理解する。

2．到達目標

習得した技術により、自主的に企画を立案し番組制作が出来るようになる。

3．授業計画

前期	
1	自己紹介、１年次履修内容の復習（カメラセッティング、３点照明、ブームマイク）
2	カメラやレンズの特徴を理解し、構図を決める（被写界深度について）
3	インタビューの撮影① 撮影法と照明の当て方、マイクの設置法
4	インタビューの撮影② 実践（ロケ撮影実習）
5	テーマに合わせた撮影法① テーマ・被写体決め
6	テーマに合わせた撮影法② 実践（ロケ撮影実習）
7	その他の撮影法① 物撮り（湯気の出る食品の撮影法
8	自分たちで企画から撮影まで① 企画打合せ
9	自分たちで企画から撮影まで② 企画打合せ
１０	自分たちで企画から撮影まで③ 撮影準備
１１	自分たちで企画から撮影まで④ 撮影準備
１２	自分たちで企画から撮影まで⑤ 撮影
１３	自分たちで企画から撮影まで⑥ 撮影
１４	自分たちで企画から撮影まで⑦ プレビュー・講評
１５	ロケ機材総合復習①
１６	ロケ機材総合復習②
１７	前期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	220	科 目 名	番組制作実習 II			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	橋本　弘行　　斉藤　みゅん　小林　一利			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%　筆記試験 35%　レポート課題制作評価 35%						

1．授業概要

ロケ収録に於ける ENG カメラ・音声機材・照明を使った、より実践的な撮影技法を習得する。

2．到達目標

習得した技術により自主的に企画を立案し、番組制作が出来るようになる。

3．授業計画

後期	
1	前期試験の解説
2	企画打合せ①
3	企画打合せ②
4	企画打合せ③
5	撮影準備①
6	撮影準備②
7	撮影①
8	撮影②（各自編集して後日提出）
9	卒業制作の撮影①
１０	卒業制作の撮影②
１１	卒業制作の撮影③
１２	ロケ撮影時実習①　撮影内容考案・打ち合わせ
１３	ロケ撮影時実習②　新校舎周辺撮影
１４	ロケ撮影時実習③　新校舎周辺撮影
１５	ロケ機材総合復習①
１６	ロケ機材総合復習②
１７	前期期末試験

科目の教育目標・授業計画　「２０２０年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0221	科 目 名	ノンリニアエディティングⅠ			科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	大野　紗耶子			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%						

１．授業概要

１年次に学んだノンリニア編集の基本操作の復習や、新たな機能の練習を行い、2 年次撮影素材の編集を行う事でより高度な編集技術を習得する。

２．到達目標

編集業務に於いてより実践的な編集処理が出来るようになる。

３．授業計画

前期	
1	龍踊り課題①：素材の確認、ビンの振分け・サブクリップ作成
2	〃　②：編集の基本操作復習、トリミング、カットの移動
3	〃　③：スプリット編集や一括編集、音の編集
4	〃　④：カラーコレクション、モーションエフェクト
5	〃　⑤：タイトルツール、ステップイン・ステップアウト操作
6	〃　⑥：ピクチャーインエフェクト、エクスポート設定、デジタルカット
7	入学式素材①：素材のデジタイズ
8	②：トラッキング操作、デジタルカット
9	ENG 撮影課題の集①：デジタイズ
１０	〃　②：各自で編集
１１	〃　③：各自で編集
１２	〃　④：白完ﾊﾟｹ、テロップ入れ
１３	〃　⑤：完ﾊﾟｹエクスポート：MA 用 AAF/OMF
１４	〃　⑥：QuickTime(課題提出用)
１５	編集技術総合実習①
１６	編集技術総合実習②
１７	課題プレビュー総復習

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0221	科 目 名	ノンリニアエディティングⅡ			科目区分	専任
科 目 群	専門	担当講師	大野　紗耶子			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%						

1．授業概要

撮影実習で撮影した素材を用いて各自で編集を行い、作品として完成できる技能を習得する。

2．到達目標

Avid の操作習熟により、実践的な編集処理が出来るようになる。

3．授業計画

後期	
1	スポーツ大会：素材の取り込み
2	スポーツ大会：素材の確認
3	スポーツ大会：粗編集
4	スポーツ大会：　〃
5	スポーツ大会：　〃
6	スポーツ大会：白完
7	スポーツ大会：音楽つけ
8	スポーツ大会：完成、提出
9	ＥＮＧ撮影素材：
１０	ＥＮＧ撮影素材：提出用 QuickTimeMovie 作成
１１	卒業制作：編集
１２	卒業制作：　〃
１３	卒業制作：MA 用書き出し AAF・QuickTimeMovie
１４	卒業制作：MA 音戻し
１５	卒業制作：書き出し
１６	編集技術総合実習①
１７	編集技術総合実習②

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」						学 科 名	放送映像学科
科目番号	0223	科 目 名	総合演習			科目区分	実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	小中 和哉、金田 龍、高橋 厳、斉藤みゅん			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態.	演習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点 40%授業への貢献度 40%、制作レポート評価 20%						

1．授業概要

講師、もしくは学生が作成した脚本をもとに講師が実際の演出を行い、学生は各パートの職種に分かれて撮影、編集を行い実際の制作プロセスを理解する。その後学生が講師の指導により演出も含めて全ての業務プロセスを行い、より自主的な制作能力を習得する

2．到達目標

テレビ番組、映画の制作で使われる脚本、画コンテ、スケジュール表などの作成が出来るようになる。
編集志望の学生はドラマの編集を中心に編集テクニックが上達する。
音声・ＭＡ希望の学生には別に時間をとり上達を目指す。

3．授業計画

前期	
1	脚本実習
2	教員が監督のもと映像作品を作る①
3	教員が監督のもと映像作品を作る②
4	教員が監督のもと映像作品を作る③
5	教員が監督のもと映像作品を作る④
6	学生が監督のもと映像作品を作る①
7	学生が監督のもと映像作品を作る②
8	学生が監督のもと映像作品を作る③
9	学生が監督のもと映像作品を作る④
１０	上映会・講評
１１	卒業制作作品の企画書作り①
１２	卒業制作作品のプロット・構成案作り①
１３	卒業制作作品のプロット・構成案作り②
１４	卒業制作作品のシナリオ作り①
１５	卒業制作作品のシナリオ作り②
１６	卒業制作作品のシナリオ作り③
１７	卒業制作作品のシナリオ作り④

科目の教育目標・授業計画　「2020 年度」

学 科 名	放送映像学科

科目番号	0224	科 目 名	卒業制作			科目区分	非常勤
科 目 群	専門	担当講師	小中和哉、金田龍、高橋厳、斉藤みゅん			履修区分	必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態.	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点 40%　授業への貢献度 40%、卒業制作レポート評価 20%						

1．授業概要

２年間の集大成として班ごとにオリジナルの作品を学生主体により制作する

2．到達目標

映像作品の企画から完成まで全てのプロセスを学生自身で実施できるようになる。

3．授業計画

後期	
1	卒業制作スケジュール調整
2	スケジュール調整と機材調整など
3	卒業制作撮影準備①（ロケーションハンティングなど）
4	卒業制作撮影準備②（必要なものの手配など）
5	卒業制作撮影準備③
6	卒業制作の撮影①
7	卒業制作の撮影②
8	卒業制作の撮影③
9	卒業制作の撮影④
１０	編集①
１１	編集②
１２	編集③
１３	編集④
１４	ＭＡ①
１５	ＭＡ②
１６	ＭＡ③
１７	上映講評会